

御セリ、且ツ出家ノ天皇ニハ、上古ハ謚ヲ上ラザルヲ以テ例ト爲ス、聖武孝謙ノ二天皇ノ如キ是ナリ、

女帝ノ上皇ト爲リ出家シ給ヒシハ、古來孝謙天皇一人ノミ、是ハ其願ヲ圓ニシ給ヒシニハアラズシテ、額髮ヲ剃除セシニ止マリシナリ、ナホ出家ノ事ハ、釋教部ニ得度ノ篇アレバ參看スベシ、

受戒ハ、更ニ出家ノ後ニ於テスルアリ、出家セズシテ行フアリ、或ハ初二東大寺ニテ行ヒ、後ニ重子テ延曆寺ニテ行フ等ノ事アリテ、其受戒ノ座ニ在リテハ、上皇ハ至尊ヲ降シ、布衣ヲ著ケ、鐵鉢ヲ持チ、衆僧ノ下ニ坐シ給フ等ノ事アリ、是モ釋教部ニ、戒律ノ篇アレバ就キテ見ルベシ、

灌頂受衣ノ事モ、釋教部ニ其篇アレバ此ニ贅セズ、宇多天皇ヲ金剛覺ト稱シ奉リシガ如キハ、所謂灌頂號ニシテ、灌頂ノ時ニ命ジタルナリ、

天皇在位ノ出家ハ、聖武天皇ニ昉リ、自ラ三寶奴ト稱シ、次ニ仁明天皇ハ、其大漸ニ及ビテ之ヲ行ヒ給ヘリ、花山天皇ハ、年少ニシテ世事ニ更歷シ給ハズ、帷席ノ愛ニ溺レ、奸臣ノ術中ニ陥リ給ヒシモノニテ、亦在位中ノ事ナリ、

名稱

〔名目抄〕院中法皇ホツソウ

〔東寶記〕八太政官符 治部省

應加置眞言宗年分度者四人事

右太上天皇多勅命曰略中不任令法久住之思、勅狀陳請者略中

延喜七年七月四日聚三代格又見類

〔千載和歌集〕序わがのりのすべらき白河につかへ奉りて、略下